



2017年5月19日(金) ~

2017年6月8日(木) の活動

○ 富山県北陸新幹線対策連絡協議会・北陸新幹線建設促進富山県民協議会合同決起大会

5月19日(金) 富山市

オークスカナルパークホテル富山において、石井富山県知事をはじめ、稗苗県議会議長、森富山市長、久和北経連会長ほか、240名が参加して開催された。

石井知事はあいさつの中で、「3月に大阪までの全線ルートが確定し態勢は整った。北海道新幹線の札幌開業頃までに全線開業できるように、皆さまと力を合わせて頑張りたい。」と述べた。

久和会長は来賓あいさつの中で、「北陸新幹線は北陸の成長戦略の基盤となる最重要インフラであり、一日も早い大阪までの全線開業が必要である。敦賀開業より前に、事業認可・用地買収に着手され2030年頃までの全線整備の実現を求めていく。」と述べ、あわせて「北陸と中京圏とのアクセス利便性確保への十分な配慮も必要である。」と指摘した。(担当：本多)

○ 北陸新幹線建設促進大会・中央要請

5月23日(火) 東京都

沿線各県知事・議会議長、各県選出国會議員、鉄道・運輸機構、関西経済連合会、関西広域連合等約300名が参加して開催された。当連合会からは、久和会長、川田副会長、高木副会長、伊東副会長が参加した。敦賀以西の全ルートが確定したことにより、今回から関西経済連合会と関西広域連合が要請団体に加わった。

久和会長は、「北陸が関西と新幹線で直結すると北陸地域はもとより上信越地域にとっても関西への利便性が格段に向上し、関西地域の活性化にも大きく貢献する。北陸新幹線の経済効果は北陸地域にとどまらず、わが国全体の経済発展に大きく寄与するものである。日本海側を通過して東京と関西を結ぶことで、東海道新幹線の代替補完機能を有し、国土強靱化に貢献する。一日でも早い大阪までの全線開業が必要である。今後、関西経済連合会とも連携を強化して運動していく。」と、北陸の経済界を代表して挨拶した。

関西経済連合会の沖原副会長は、「北陸新幹線の大阪への早期延伸は、東海道新幹線の代替ルートとして均衡ある国土の形成発展に寄与する国家プロジェクトであり、東京一極集中の是正と地方創生にも大きな役割を果たす。北経連として、関西と北陸の絆を強化していくことに努めていく」と述べた。

午後からは、各県知事、議会議長、関西経済連合会副会長らとともに、自民党の茂木政調会長、下村幹事長代理、公明党の井上幹事長、漆原中央幹事会会長、石井国土交通大臣、富樫総務大臣政務官を訪問し、要請活動を行った。(担当：本多)

○ (一社)中央日本総合観光機構設立総会

5月26日(金) 名古屋市

「昇龍道プロジェクト」など東海・北陸・信州の9県にまたがる中部広域観光推進協議会が、広域連携DMO(Destination Marketing/Management Organization)として一般社団法人 中央日本総合観光機構に引き継がれた。今般、設立総会ならびにお披露目式が名古屋城本丸御殿において行われた。会長には、豊田中部経済連合会会長が就任し、副会長に当会久和会長が就任した。

当日は、大村愛知県知事、河村名古屋市長ら約150名が参加し、最高執行責任者(COO)のAshley John Harvey氏より今後の取組みの説明などが行われた。

久和会長はあいさつの中で、「北陸の観光誘客においてはアジアに目が向きがちであるが、しっかりしたマーケティングに基づいた欧米へのセールスも重要である。」と指摘し、本機構への支援を要請した。(担当：本多)

○ 第98回理事会

6月5日(月) 金沢市

平成29年度定期総会に先立ち、第98回理事会を開催し、理事43名が出席した。

理事会では、平成29年度定期総会の議案が承認され、定期総会に付議することとなった。

また、4月30日から5月6日に行われた創立50周年記念事業のシリコンバレー視察について、久和会長から報告された。(担当：小山)

○ 平成29年度定期総会

6月5日(月) 金沢市

平成29年度定期総会を開催し、152名が出席した。以下の議案について審議し、承認された。

第1号議案 平成28年度事業報告および決算承認の件

第2号議案 平成29年度事業計画および収支予算(案)審議の件

第3号議案 会則改正の件

第4号議案 役員改選の件

総会後は、東京大学大気海洋研究所海洋化学部門元教授の蒲生俊敬氏に、「日本海とはどのような海か」と題してご講演いただいた。講演では、日本海が外海と隔てられた海であり、冬の冷たい季節風と温かい対馬海流が地域に大きな恵みをもたらすと解説していただいた。

(定期総会配布資料は、別途、会員の皆様に送付いたします。また北経連HPでもご覧いただけます。)

(担当：小山)